

■ 特別講演 1 (P: 共 (臨))

2023年6月9日 (金) 10:45~11:45

深層学習とビッグデータでできること

S1-2

座長: 愛媛大学医学部 産科婦人科学

教授 杉山 隆

演者: 日本大学理工学部 応用情報工学科

教室主任・教授 細野 裕行

■ 特別講演 2 (P: 産 (領))

2023年6月9日 (金) 15:00~16:00

産科領域の貯血式自己血輸血指針と鉄補充への展望

S3-4

座長: 順天堂大学 産婦人科

教授 板倉 敦夫

演者: 浜松医科大学 産婦人科家庭医療学講座

共同研究員 杉村 基

■ 教育講演 1 (P: 産 (領))

2023年6月9日 (金) 9:40~10:40

周産期診療に役立つ血栓・止血のイロハ

S5-6

座長: 自治医科大学附属さいたま医療センター 小児科・周産期科

教授 細野 茂春

演者: 自治医科大学 医学部生化学講座病態生化学部門

教授 大森 司

■ 教育講演 2 (P: 産 (領))

2023年6月10日 (土) 9:15~10:15

臨床薬理学を基盤とした周産期の薬物投与設計

S7-8

座長: 地域医療振興協会 練馬光が丘病院 産婦人科

顧問 高木健次郎

演者: 日本大学薬学部 臨床薬物動態学研究室

教授 辻 泰弘

■ 企画シンポジウム

2023年6月9日（金）13：50～14：50

小児の輸血療法

座長：JCHO北海道病院 小児科

部長 長 和俊

「新生児・小児の輸血

ー日本輸血・細胞治療学会ガイドライン改定案についてー

S9-10

演者：青森県立中央病院 臨床遺伝科/臨床検査部

新興感染症対策推進監・部長 北澤 淳一

「小児がん診療における輸血療法」

S11-12

演者：北海道大学 医学部 小児科

教授 真部 淳

■ シンポジウム 1

2023年6月10日（土）10：20～11：40

産科危機的出血とフィブリノーゲン

座長：埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科

教授 松永 茂剛

自治医科大学 産科婦人科

教授 高橋 宏典

「産科DIC = 低フィブリノーゲン血症」ではない

S13-14

演者：関西医科大学 医学部 産科婦人科学講座

産科教授・産科科長・総合周産期母子医療センター センター長 森川 守

「POCTにおける低フィブリノーゲン血症の同定」

S15-16

演者：埼玉医科大学総合医療センター 総合周産期母子医療センター母体胎児部門

中村 永信

「羊水塞栓症における血液凝固障害の病態と対応」

S17-18

演者：Division of Transfusion Medicine & Coagulation,

Texas Children's Hospital and Department of Pathology & Immunology,

Baylor College of Medicine

Research Scholar 小田 智昭

「フィブリノゲン製剤の使用実態の現状」

S19-20

演者：順天堂大学 産婦人科

准教授 竹田 純

■ シンポジウム2

2023年6月10日（土）14：10～15：50

妊娠高血圧症候群関連DICの管理

座長：自治医科大学 産科婦人科学講座

教授 大口 昭英

順天堂大学医学部附属浦安病院 産婦人科

教授 牧野真太郎

「急性妊娠脂肪肝の診断と管理」

S21-22

演者：自治医科大学 産科婦人科学講座

准教授 鈴木 寛正

「HELLP症候群の管理」

S23-24

演者：奈良県総合医療センター 産婦人科

周産期母子医療センター長・産婦人科部長 佐道 俊幸

「TTPの管理」

S25-26

演者：大阪市立総合医療センター 産科

診療部長 中本 収

「Atypical hemolytic uremic syndrome (aHUS) の診断と管理」 S27-28

演者：慶應義塾大学医学部 産婦人科

専任講師 池ノ上 学

■ 共催セッション1

2023年6月9日（金）16：10～17：10

新生児・乳児における先天性血友病Aの治療実態と課題

座長：九州大学大学院医学研究院 成長発達医学分野

教授 大賀 正一

演者：奈良県立医科大学 小児科学教室

教授 野上 恵嗣

共催：中外製薬株式会社

■ 共催セッション2

2023年6月10日（土）13：00～14：00

産科危機的出血でのフィブリノゲンの補充

座長：順天堂大学医学部 産婦人科学講座

主任教授 板倉 敦夫

演者：順天堂大学医学部附属浦安病院 産婦人科

教授 牧野真太郎

共催：一般社団法人 日本血液製剤機構

■ ランチョンセミナー1

2023年6月9日（金）12：00～13：00

周産期・周術期における大量出血と鉄欠乏性貧血の管理

座長：自治医科大学附属さいたま医療センター 産婦人科

教授 桑田 知之

演者：獨協医科大学 産科婦人科学教室

産科主任教授 成瀬 勝彦

共催：ゼリア新薬工業株式会社

■ ランチョンセミナー2

2023年6月10日（土）11：50～12：50

赤ちゃんの「頭の形」から見えてくるもの

座長：自治医科大学附属さいたま医療センター 小児科・周産期科 教授 細野 茂春

演者：富山大学附属病院 周産母子センター

センター長・教授 吉田 丈俊

共催：株式会社ジャパン・メディカル・カンパニー

■ 特別優秀候補演題

● 査読○の演題は、本誌後半の学会誌に原著／症例報告として内容が掲載されています。

演題番号	査読	所属	氏名	演題名	ページ
優秀演題賞（真木賞）選定セッション					
6月9日（金）17：15～18：45 第1会場					
座長：森川 守 関西医科大学 医学部 産科婦人科学講座 川口 千晴 大和高田市立病院 小児科					
E1		大阪公立大学 女性生涯医学	柴田 悟	当院における妊娠中の免疫性血小板減少症に対する免疫グロブリン大量療法の有効性についての検討	S29-30
E2	○	信州大学 医学部 産科婦人科学教室	杉山結理佳	未破裂左腎動脈瘤合併妊娠の1例	1-2
E3	○	山梨県立中央病院総合周産期母子医療センター 新生児科	篠原 珠緒	HLA不適合による同種免疫性血小板減少症の兄弟例の新生児期の経過と発達予後	3-4
E4		九州大学病院 小児科	宮内 雄太	電撃性紫斑病を契機に診断された新生児先天性プロテインC欠乏症の女児例～眼合併症の課題～	S31-32
E5	○	自治医科大学 産科婦人科	堀江 健司	DOAC中止後に、常位胎盤早期剥離と静脈血栓塞栓症を発症した、プロテインS欠乏症合併妊娠	5-6
E6	○	東京都立墨東病院 産婦人科	熊澤 理紗	後期分娩後異常出血の原因と低フィブリノゲン血症の関連についての検討	7-8

■ 一般演題

● 査読○の演題は、本誌後半の学会誌に原著／症例報告として内容が掲載されています。

演題番号	査読	所属	氏名	演題名	ページ
一般演題① 産婦人科1					
6月9日（金）14：00～14：50 第2会場					
座長：薄井 里英 自治医科大学 産婦人科 服部 純尚 国立病院機構 埼玉病院 産婦人科					
1	○	近畿大学奈良病院 産婦人科	岡本 美穂	妊娠初期に組織球性壊死性リンパ節炎と診断し、生児を得た一例	9-10
2	○	奈良県総合医療センター 産婦人科	中澤 遼	産後3日目にG群溶連菌菌血症とCOVID-19が併発した一例	11-12
3	○	山梨大学医学部 産婦人科	大和田 壮	経口避妊薬内服中にVTEを発症し、外科的治療直後に妊娠した1例	13-14
4		国立成育医療研究センター 周産期母性診療センター・産科	藤野 佐保	第Ⅸ因子補充を要した血友病B保因者の妊娠管理	S33-34
5		浜松医療センター 産婦人科	栗田 綾花	当院で経験した周産期尿崩症の3例	S35-36

演題番号	査読	所 属	氏 名	演 題 名	ページ
一般演題② 新生児 1					
6月9日(金) 15:00～15:40 第2会場					
座長：清水 正樹 埼玉県立小児医療センター 新生児科 佐藤 洋明 自治医科大学附属さいたま医療センター 周産期科 新生児部門					
6	○	日本赤十字社医療センター 新生児科	鷺川 寿子	脳静脈洞血栓に対して低分子量ヘパリン療法を行った新生児例	15-16
7		大和高田市立病院 小児科	川口 千晴	低用量アスピリン投与を行った二次性血小板増多症4乳児例におけるThrombelastographyを用いた血液凝固解析	S37-38
8	○	聖マリアンナ医科大学病院 小児科	小町 詩織	当院の極低出生体重児におけるカテーテル関連血栓症の後方視的検討	17-18
9	○	聖マリアンナ医科大学病院 小児科	飛田 睦	間葉性異形成胎盤により出生時に播種性血管内凝固症候群を呈した一例	19-20

演題番号	査読	所 属	氏 名	演 題 名	ページ
一般演題③ 産婦人科 2					
6月9日(金) 16:10～17:00 第2会場					
座長：渡辺 尚 芳賀赤十字病院 産婦人科 西岡 暢子 越谷市立病院 産婦人科					
10	○	近畿大学奈良病院 産婦人科	西岡 和弘	集学的治療で救命しえた臨床的羊水塞栓症の1例	21-22
11	○	東京都立墨東病院 産婦人科	土井裕美子	肺血栓塞栓症を合併した羊水塞栓症の1例	23-24
12		埼玉医科大学 産科婦人科	市川 大介	Couvelaire兆候に類似した所見を認め弛緩出血のため子宮全摘となった一例	S39-40
13		独立行政法人国立病院機構(NHO)岡山医療センター 産婦人科	吉田 瑞穂	分娩後異常出血で認める凝固障害の分類と凝固線溶系検査値および出血プロファイルの特徴	S41-42
14		医療法人社団中林病院 産婦人科	中林 靖	分娩所要時間からみた弛緩出血症例の解析	S43-44

● 査読○の演題は、本誌後半の学会誌に原著／症例報告として内容が掲載されています。

演題番号	査読	所属	氏名	演題名	ページ
一般演題④ 産婦人科3					
6月10日(土) 10:20～11:00 第2会場					
座長：田丸 俊輔 埼玉医科大学 産科婦人科 桑田 知之 自治医科大学附属さいたま医療センター 産婦人科					
15	○	東京女子医科大学 産婦人科学講座	柏崎 咲絵	妊娠高血圧症候群による急速なフィブリノゲン低下を認めた1例	25-26
16		三重大学 医学部 産科婦人科	高倉 翔	sFlt-1・PIGFを用いた妊娠高血圧症候群における妊娠残存期間の予測	S45-46
17		大阪公立大学大学院医学研究科 女性生涯医学	山本将太郎	ヘモグロビン異常症合併妊娠の2症例	S47-48
18		順天堂大学医学部附属順天堂医院 産婦人科	熊谷 麻子	分娩前ヘモグロビン値と産褥期静注鉄剤投与の効果	S49-50

演題番号	査読	所属	氏名	演題名	ページ
一般演題⑤ 新生児2					
6月10日(土) 13:00～13:40 第2会場					
座長：岡橋 彩 日本大学医学部 小児科学系 小児科学分野 國方 徹也 埼玉医科大学病院 新生児科					
19		広島市民病院 小児科	西村 志帆	新生児期に大動脈縮窄症修復術を行った未診断軽症血友病Bの一例	S51-52
20	○	東京都立大塚病院 新生児科	大島 美音	新生児期の黄疸で治療を要し遺伝性球状赤血球症と診断した4症例	27-28
21	○	埼玉医科大学病院 新生児科	堀田奈緒美	早発黄疸で発症し、家族歴が診断に有用であった遺伝性球状赤血球症の5例	29-30
22		聖マリアンナ医科大学病院 小児科	鈴木 真波	赤血球製剤のドナーの性差と輸血を受けた超早産児の予後との関係	S53-54

演題番号	査読	所属	氏名	演題名	ページ
一般演題⑥ 新生児3					
6月10日(土) 14:10～14:50 第2会場					
座長：大川 夏紀 順天堂大学医学部附属静岡病院 新生児科 丸山 麻美 自治医科大学附属さいたま医療センター 周産期科 新生児部門					
23		三重大学医学部附属病院 産婦人科	真木晋太郎	タタラフィル経母体投与における新生児Rebound effectの評価	S55-56
24	○	福島県立医科大学総合周産期母子医療センター 新生児部門	上田 万純	胎児母体間輸血症候群を呈した早産極低出生体重児の1例	31-32
25		埼玉県立小児医療センター総合周産期母子医療センター 新生児科	廣中 優	当院で経験した母児間輸血症候群10症例の検討	S57-58
26	○	富山大学 学術研究部医学系 小児科学講座	高崎 麻美	母体の抗SS-A抗体移行による新生児期血球貪食性リンパ組織球症	33-34